

OKYAKUSAMANOOTAKUHAIKEN!

お客様のお宅拝見!!

コーディネーション | 浜松市西区 A様邸



浜松市西区、JR高塚駅のほど近くの整備された住宅地。真新しい新築住宅が並ぶこの地で直線基調の端正な外観が映えるA様邸をご紹介します。「圧迫感がなく住みやすい家」がコンセプトのすまいです。



「いくら図面で検討しても、家の形になるとイメージが違ってくるよ」との先輩からのアドバイスで、現物重視でモデルハウス巡りをなさったご主人。そこで目に留めて頂いたのが、弊社のモデルハウス。その間取りや造形をモチーフにアイデアを膨らませ、今の形になったそうです。



玄関でA様ご夫妻にお迎え頂き、横手方向に空間をとった玄関ホールを抜けると、間接照明がスタイリッシュなリビングが広がります。新居建築前から買い集めていたという飛騨高山産の家具が、まるであつらえたかのように調和しています。「どんなテイストにするかは、ある程度決めていたので、それを基に選びました。うまく馴染んで良かったです。」とご主人。

ペニンシュラ型のフラット対面キッチンと、そこに横付されたダイニングテーブル。コンパクトな家事動線を確保しつつも、優雅な佇まいを見せています。

リビングに接する和室は縁甲板と黒系の琉球畳を合わせた和モダンスタイル。慎重に吟味された奥様お気に入りの茶卓が凜とした雰囲気を出しています。

「書架と収納には、とことんこだわりました。単にスペースを確保するだけでなく、扉を付けて違和感の無い様にしたり、露出させて見せる収納にしたりと、一番苦心したんじゃないかな、と思います。おかげで収納面での不都合は感じません。」とご主人。



和モダンスタイルの和室

今回の住まいづくりの思い出をお聞きすると、「家が段階的に建てられていくのを見ながら、家を所有するという実感が徐々に湧いてきて、そのプロセスをワクワクしながら楽しみました。」とご主人。



インテリアや室内のカラーコーディネートは、奥様が担当なさったそうです。「インターネットの画像、各地のモデルハウス、カタログなど、参考になりそうな物を寄せ集めて、良いとこ取りしただけなんです…」と奥様は謙遜なさいましたが、和・洋・エスニックの巧みな組み合わせはインテリアショップのショールームのようです。他にも工夫をこらした見所が沢山あるのですが、紙面の関係で紹介できないのが残念です。



新築されて変化した事を伺うと、「アパート暮らしの時は、物理的にも精神的にも圧迫感がありましたが、自家だと精神的にも開放されますから、家でごろごろしたくなりますね」とご主人。

庭造りを含め、「まだまだやりたいことが沢山あります」というご主人。A様邸もやがて新しい家族も増え、より一層賑やかになっていくでしょう。家族と共に新しいインテリアも加わり、より一層深みを増していく。数年後にはもっと素敵な住まいになっているんだろうな、そんな思いを馳せながら後にしたA様邸でした。